

今年の講演会には当会顧問の元NHKアナウンサー、小林昭彦氏をお迎えし、「面白い日本語の発音」というテーマで講演を頂いた。

普段何気なく使い、話している私たちの言葉・日本語について、発音上の便宜から、もとの音とは違った音に変えて発音する現象（音便現象という）について、具体的な事例を交えながら解説され、使い勝手や人々の生活様式、時代の流れなどの中で、知らず知らずのうちに発音が変化していく言葉の面白さ、奥の深さについて改めて認識することが出来た。

そして、はっきりした言葉で話すには、明快な発音が必要であり、そのために、口を動かしての発音練習を「口の体操」と称して、お持ち頂いたマニュアルをもとに実践的に解説された。これから、今日頂いたマニュアルで、「口の体操」を一日数分間で良いので毎日行ない、お互いに綺麗で明快な発音が出来よう努めて行きたい。

（昭35商 齋藤安功）